

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラスアップ・ラボ蘇我駅前教室		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		～ 2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パソコン学習を中心としているため、子供たちの興味関心を引き出しやすい。	パソコン学習を通してからも図形が捉えづらいなど、子供たちの特性を見逃さないようにしている。	子供たちの特性を捉えて、ワードの基本操作方法を一人で出来るように取り組んでいく。
2	コンテンツが充実しているため、保護者へ伝わりやすい。	様々なコンテンツを子供たちが体験することで得意なこと、苦手なことを見つける。	得意なことは伸ばせるように、苦手なことは子供たちが生活していくうえで困らないような課題を考えていく。
3	駅前という立地から、自力通所移行への安心・安全性。	近隣の学校に徒歩で迎えに行くなどして、自力通所をサポートしている。	子供たちへ声かけやコミュニケーションにより自力通所に自信を持たせる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パソコンに集中し過ぎてしまう教室環境。	パソコン以外の自由時間の過ごし方。	カードゲームやボードゲームなどへ興味に移せるような環境作り。
2	近隣の学童ルーム、子供会などとの地域交流が難しい。	地域交流の場所が少ない。	地位交流の場所を探す。
3	家族支援プログラムや教室行事開催機会の少なさ。	保護者への伝達方法を工夫する。 教室面談へ足を運んで頂き、保護者への説明の場を充実させたい。	取り組んだ学習プリントを返却し、子供たちの進捗状況を伝える。 保護者の方に教室面談へ足を運んで頂き、可視化へつなげたい。 教室行事開催の立案。